



2020年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月30日

上場会社名 ソフトブレイン株式会社 上場取引所 東
 コード番号 4779 URL <https://www.softbrain.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 豊田 浩文
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 管理本部長 (氏名) 木下 鉄平 TEL 03 (6880) 9500
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2020年12月期第3四半期の連結業績（2020年1月1日～2020年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	6,667	△6.9	339	△54.9	341	△54.9	191	△60.0
2019年12月期第3四半期	7,159	8.1	753	△4.3	757	△4.4	479	△6.9

(注) 包括利益 2020年12月期第3四半期 211百万円 (△57.6%) 2019年12月期第3四半期 498百万円 (△7.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	6.56	—
2019年12月期第3四半期	16.38	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年12月期第3四半期	7,054	5,180	69.8
2019年12月期	7,278	5,223	68.4

(参考) 自己資本 2020年12月期第3四半期 4,923百万円 2019年12月期 4,975百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期	—	0.00	—	8.50	8.50
2020年12月期	—	0.00	—	—	—
2020年12月期 (予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2020年12月期の連結業績予想（2020年1月1日～2020年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,273	△6.3	670	△42.5	670	△42.8	415	△45.7	14.11

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年12月期3Q	30,955,000株	2019年12月期	30,955,000株
② 期末自己株式数	2020年12月期3Q	1,690,700株	2019年12月期	1,704,000株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年12月期3Q	29,257,516株	2019年12月期3Q	29,303,106株

(注) 期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上控除する自己株式数には、従業員向け株式交付制度「株式付与ESOP信託」に係る信託財産として、日本マスタートラスト信託銀行株式会社（株式付与ESOP信託口）が所有している当社株式（2020年12月期第3四半期：140,700株、2019年12月期：154,000株、2019年12月期第3四半期：152,000株）を含めております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第3四半期連結累計期間の連結業績は、

売上高	6,667百万円 (前年同期比6.9%減)
営業利益	339百万円 (同54.9%減)
経常利益	341百万円 (同54.9%減)
親会社株主に帰属する四半期純利益	191百万円 (同60.0%減)

となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、2020年4月に新型コロナウイルス感染症拡大により緊急事態宣言が発出され、社会・経済活動が急速に停滞しました。緊急事態宣言解除後も経済活動の回復に向けた動きは鈍く、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような環境の下、緊急事態宣言に伴う外出自粛要請や顧客の事業活動停滞等により、2020年4月以降は主力事業である営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業を中心に事業活動に影響が出ております。一方で、これまでの営業活動を見直し、Webを活用したセミナー開催による集客強化や、Web会議による商談の実施等「新しい営業スキーム」の構築に取り組み、売上確保に注力いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間は、主力事業である営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業が減収となったため、全体としても減収となりました。利益面におきましては、システム開発事業が増益となりましたが、営業イノベーション事業及びフィールドマーケティング事業が減益となったため、全体としては営業利益、経常利益ともに減益となりました。

(シー・ファイブ・エイト・ホールディングス株式会社による当社株券に対する公開買付け)

2020年8月14日付でシー・ファイブ・エイト・ホールディングス株式会社による当社株券に対する公開買付け(以下「本公開買付け」といいます。)が公表され、当社は本公開買付けに関して賛同の意見を表明するとともに、当社の株主の皆様に対して、本公開買付けへの応募を推奨することを決定いたしました。

本公開買付けの詳細につきましては、2020年9月28日公表『シー・ファイブ・エイト・ホールディングス株式会社による当社株券に対する公開買付けに関する意見表明及び「シー・ファイブ・エイト・ホールディングス株式会社による当社株券に対する公開買付けの開始予定に関する意見表明のお知らせ」の一部訂正に関するお知らせ』をご覧ください。

各セグメントの業績については以下の通りです。

1. 営業イノベーション事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、働き方改革への取り組み等を背景に、企業の生産性向上や営業活動効率化を目的としたCRM/SFAソフトウェアへの投資需要は引き続き高い状態にあるものの、先行き不透明な景況感の中で投資判断には慎重さが見られました。主力商品であるCRM/SFAソフトウェア「eセールスマネージャー」の販売においては、経済活動再開の動きに合わせて引き合いは戻りつつありますが、一定程度の回復にとどまりました。教育・コンサルティングサービスについても、集合研修やセミナー等の開催の延期・取り止め等が発生いたしました。

以上の結果、売上高は3,412百万円(前年同期比8.0%減)、セグメント利益は98百万円(同80.3%減)となりました。

2. フィールドマーケティング事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、主力サービスである定期フィールドビジネスや人材派遣ビジネスにおいて緊急事態宣言解除後は顧客においても徐々に活動を再開しており、それに伴い売上も一定程度は回復しましたが、緊急事態宣言発出中のマイナス分をカバーするまでには至らず、結果として減収となりました。

以上の結果、売上高は2,848百万円(前年同期比5.8%減)、セグメント利益は268百万円(同3.7%減)となりました。

3. システム開発事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、緊急事態宣言の影響によりテレワーク下での活動となりましたが大きな影響はなく増収となりました。費用面におきましては、引き続きプロジェクト管理の徹底による収益性の改善に努めました。

以上の結果、売上高は331百万円(前年同期比14.1%増)、セグメント利益は13百万円(同72.5%増)となりました。

4. 出版事業

当第3四半期連結累計期間におきましては、緊急事態宣言の影響により顧客が活動を自粛したこと等により売上は伸び悩みました。費用面につきましてはコスト管理徹底により改善を図りました。

以上の結果、売上高は76百万円(前年同期比45.0%減)、セグメント損失は36百万円(前年同期は31百万円の損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末の資産、負債、純資産の状況は、

資 産 7,054百万円(前連結会計年度末比 3.1%減)

負 債 1,874百万円(前連結会計年度末比 8.8%減)

純資産 5,180百万円(前連結会計年度末比 0.8%減)

となりました。当第3四半期連結会計期間末の財政状態の分析は、以下の通りです。

<資産>

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ223百万円減少し、7,054百万円となりました。その主たる要因は、現金及び預金が377百万円減少したことによるものです。

<負債>

当第3四半期連結会計期間末の負債は、前連結会計年度末に比べ180百万円減少し、1,874百万円となりました。その主たる要因は、未払法人税等が175百万円減少したことによるものです。

<純資産>

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ43百万円減少し、5,180百万円となりました。その主たる要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上191百万円、剰余金配当による249百万円の減少によるものです。自己資本比率は、69.8%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、2020年8月14日に公表いたしました2020年12月期連結業績予想から修正しておりません。

なお、上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、潜在的なリスクや不確実性が含まれておりません。そのため様々な要因の変化により、実際の業績はこれと大きく異なる可能性があることをご承知おさください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,010,923	3,633,647
受取手形及び売掛金	1,799,399	1,657,184
商品及び製品	56,081	44,057
仕掛品	110,871	167,429
その他	250,989	251,080
貸倒引当金	△20,211	△18,916
流動資産合計	6,208,053	5,734,482
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	107,716	112,434
減価償却累計額	△15,404	△21,074
建物及び構築物(純額)	92,312	91,360
工具、器具及び備品	357,563	375,716
減価償却累計額	△278,238	△304,437
工具、器具及び備品(純額)	79,324	71,279
有形固定資産合計	171,637	162,639
無形固定資産		
ソフトウェア	450,944	424,233
ソフトウェア仮勘定	173,621	487,783
その他	915	915
無形固定資産合計	625,480	912,933
投資その他の資産		
投資有価証券	2,500	2,500
差入保証金	187,635	185,831
長期滞留債権	40,840	40,937
繰延税金資産	79,941	51,685
その他	3,000	4,670
貸倒引当金	△40,840	△40,937
投資その他の資産合計	273,076	244,687
固定資産合計	1,070,195	1,320,260
資産合計	7,278,248	7,054,742

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2019年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	384,695	387,732
未払金	465,418	443,464
未払役員賞与	32,727	—
短期借入金	100,000	100,000
1年内返済予定の長期借入金	28,000	10,008
未払法人税等	175,955	—
前受金	547,616	675,684
賞与引当金	57,653	42,274
株式給付引当金	—	18,162
返品調整引当金	8,017	6,707
その他	222,739	142,455
流動負債合計	2,022,823	1,826,488
固定負債		
長期借入金	—	39,158
株式給付引当金	18,317	—
その他	13,353	8,519
固定負債合計	31,671	47,677
負債合計	2,054,494	1,874,166
純資産の部		
株主資本		
資本金	826,064	826,064
資本剰余金	367,795	367,795
利益剰余金	4,071,426	4,013,459
自己株式	△290,104	△284,047
株主資本合計	4,975,182	4,923,272
非支配株主持分	248,572	257,304
純資産合計	5,223,754	5,180,576
負債純資産合計	7,278,248	7,054,742

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
売上高	7,159,432	6,667,893
売上原価	4,664,089	4,672,588
売上総利益	2,495,342	1,995,305
販売費及び一般管理費	1,742,329	1,655,902
営業利益	753,013	339,403
営業外収益		
受取利息	324	227
助成金収入	1,490	6,626
受取返戻金	1,050	—
為替差益	1,043	718
雑収入	1,657	645
営業外収益合計	5,564	8,217
営業外費用		
支払利息	895	825
解約違約金	—	5,287
その他	39	21
営業外費用合計	935	6,134
経常利益	757,643	341,486
特別損失		
リース解約損	70	—
固定資産除却損	1,679	1,485
特別損失合計	1,749	1,485
税金等調整前四半期純利益	755,893	340,000
法人税、住民税及び事業税	244,654	100,478
法人税等調整額	12,726	28,256
法人税等合計	257,381	128,735
四半期純利益	498,512	211,265
非支配株主に帰属する四半期純利益	18,661	19,289
親会社株主に帰属する四半期純利益	479,850	191,976

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年1月1日 至 2019年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年1月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	498,512	211,265
四半期包括利益	498,512	211,265
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	479,850	191,976
非支配株主に係る四半期包括利益	18,661	19,289

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自2019年1月1日至2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,707,713	3,023,354	290,120	138,244	7,159,432	—	7,159,432
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24,540	2,117	26,233	763	53,654	△53,654	—
計	3,732,254	3,025,471	316,354	139,007	7,213,087	△53,654	7,159,432
セグメント利益又は 損失(△)	498,872	278,165	7,901	△31,904	753,034	△20	753,013

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額△20千円には、棚卸資産の調整額△20千円が含まれております。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自2020年1月1日至2020年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	営業イノベーション事業	フィールドマーケティング事業	システム開発事業	出版事業			
売上高							
外部顧客への売上高	3,412,336	2,848,307	331,167	76,083	6,667,893	—	6,667,893
セグメント間の内部 売上高又は振替高	14,401	511	—	—	14,912	△14,912	—
計	3,426,737	2,848,818	331,167	76,083	6,682,806	△14,912	6,667,893
セグメント利益又は 損失(△)	98,099	268,011	13,631	△36,967	342,773	△3,370	339,403

(注) 1. セグメント利益又は損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去及び無形固定資産の調整額によるものであります。

2. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。